

はじめに

「世の中にはお金を投資したい人たちがたくさんいる」

この人たちを投資家と呼ぶ。

銀行にお金を預けても高い利息はつかない。

株や為替に投資すれば、いつでも証券市場を監視しなければならない。本業があれば忙しく、そんな暇はないだろう。

自分の指示がなくとも、投資したお金を勝手に使って利益を稼いでくれるならば任せたい。

つまり、投資したお金が、お金を稼いでくれることを望む。

もちろん、大手の銀行が売っている投資信託もある。

ただ、自分の全財産の投資先を1つに絞る人はいない。

お金を分散させることで、景気の変化や突発的な事故から財産を守ることができるといえる。

そのため、大手の銀行の商品を買っている人でも、儲かりそうな事業があれば投資する。

現実には、お金を集めて事業を始める人も多い。

と言うことは、やはりお金を出す投資家がたくさんいることになる。

世の中には、お金がなくてもできる事業とお金がなければできない事業がある。

事業を始める人は、どちらを選ぶべきだろうか。

普通に考えて、無一文で始める事業とお金を使って始める事業を比べれば、後者の方が成功しやすい。結果が同じなら、成功しやすい方を選ぶべきだ。

では、お金がない人は、どうすればよいのだろうか。

それでも、問題はない。

お金を投資家から集めればよいだけ。

魅力ある事業なら、投資家は絶対にお金を出す。

もし、あなたが「投資家からお金を集めると、後で面倒なことになる。できるだけ、他人の力を借りずに、自分の力だけで成功する方がカッコいい」と考えているなら、それは間違い。

皆が協力してお金を出し合って、世の中に貢献できる事業を成功させることが、資本主義のもともとの考え方。

「食品工場を建てたい」

でも銀行は担保価値がない工場や機械設備なんかには、お金を貸してくれない。

もし、お金を自分で集めて工場を作れば、周りに新鮮な食品を安く届けることができる。新しい雇用も発生する。つまり、その地域に貢献できる。

また、新しい事業とは、今まで非常識だと考えられていることを常識にすることだと言える。

銀行はすでに儲かっている、世の中で常識だと考えられている事業にしか、お金を貸せない。

でも、新しい事業は今までにない商品を世の中に提供する。そのことで、便利になることもある。今まで悩みを持っていた人を救うこともある。

事業が成功しやすくなるだけでなく、世の中にも貢献できる。お金を集めることはよいことなのだ。

お金を集めるべきだと思うでしょ。

ただ、大声でお金を集めたいと言っても、すぐに集まるわけではない。

また、法律的にも自由にお金を集めることはできない。

ウソの情報で人からお金を集めることがないように、政府は一定の規制をしている。

そこで、この本では、お金を集めるためのテクニク（技術）を伝授する。

もちろん、読むだけでお金が集まるわけではない。

実際に、儲かる事業を考え出すことは必要だ。そして、お金を集めるために、投資家への丁寧な説明も重要となる。

ただ、ちょっとしたお金を集める技術を知らないがために、集めることに失敗する。やりたい事業がありながら、始めることすらできない。

また、お金を集めることばかりに時間を使えば、本業にも力が入らない。技術がないと投資家とトラブルになることも多い。

本当なら成功して世の中に貢献できる事業が、つまらない理由で失敗してしまふ。

この本は、お金をスムーズに集めて、トラブルにも巻き込まれない技術を教えることを目的にする。誰にでも、簡単に使える技術をわかりやすく教えたい。

この技術は、絶対に理解できる。一度知れば、お金を集めるどんな場面でも応用できる。

今から起業するために、お金を集めたい人。

すでに会社を経営しているが、新しい事業を始めるために、お金を集めたい人。

お金を集めて上場を目指し、一気に事業を拡大したい人。

上場しているが、証券市場以外からもお金を集めたい人。

お金を集めたいすべての人に読んで欲しい。